

社会人基礎試験

公益財団法人 日本人事試験研究センター

能力試験と適性検査がセットになった筆記試験

(社会人採用に役立つ試験技法を解説した小冊子付き)

受験者側(社会人)

受験したいが、受験のための準備が難しい……



採用者側

公務遂行に必要な資質を身に付けた人材を幅広い層から確保したい……



社会人を対象とした採用活動において適切な試験とは……？

受験者が現在の職場、職務で身に付けた能力で試験に臨むことが可能な試験

新しい職場に適応しやすい人材を選べるよう、適性検査と組み合わせ

社会人基礎試験

社会人基礎試験は、社会人を対象とした採用試験としてご利用いただけるように、①基礎的な知的能力をみる「職務基礎力試験(EA)」と②公務や職場への適応性をみる「職務適応性検査(EB)」の2種類を組み合わせた試験となっています。

① 職務基礎力試験 (EA)

☆公務に必要な基礎的な知的能力の検証を目的とする試験

☆受験者が仕事をしながら受験することを考慮した、受験のための特別な準備が必要のない試験

問題数 75 題

解答時間 90 分

分野構成

「社会的関心と理解について問う分野」

新聞、ニュースなどで採り上げられる国内外の重要な出来事に関心をもって把握していれば解答できる問題、様々なニュースを理解するために必要となる基本的な知識を問う問題、地方自治に関する基礎的な知識を問う問題などが出題されます。

「言語的な能力を問う分野」

日常目にするような日本語の文章や語彙、用法、漢字、簡単な英文や英語の用法等の理解を問う問題が出題されます。

「論理的な思考力を問う分野」

与えられた文章やグラフ、表などから、論理的に考察することにより正答を導き出す問題が出題されます。

② 職務適応性検査 (EB)

☆社会人の職務、職場への適応性(職務への対応、人間関係等)の観点から受験者の性格傾向を把握し、面接や採用に当たっての必要な情報を提供する検査

質問項目数 150 項目

解答時間 20 分